

中信地区特別支援学校のあり方の検討について

長野県教育委員会事務局特別支援教育課

1 中信地区特別支援学校のニーズ

現在、中信地区の特別支援学校は以下のようなニーズを持っています。

- (1) 【松本盲学校・松本ろう学校】
在籍する児童生徒数の減少に伴う教育の専門性の確保や児童生徒の重度・重複化に対応する教育の充実が求められています。
- (2) 【松本養護学校・安曇養護学校】
児童生徒数の増による過大化・過密化への対応と教育の充実が求められています。
- (3) 【寿台養護学校】
中信松本病院移転後の寿台養護学校と病院との連携体制強化が求められます。
- (4) 特別支援学校の後期中等教育の充実と就労支援の充実が求められています。
- (5) 医療的ケアを必要とする児童生徒の皆さんが安心・安全な学校生活を送れる体制づくりが求められています。
- (6) 特別支援学校の相談支援機能の充実など、特別支援学校間に留まらず、地域の小中学校等との連携強化に期待が寄せられています。

2 あり方検討の手順について

今後、各校の持つ課題の解決など、中信地区特別支援学校のあり方について、次のような手順で検討を行います。

- (1) 連携協議会の設置：あり方の検討にあたっては、学校関係者、外部有識者などから構成される連携協議会を設置し、協議会において、課題解決の方向性など、あり方について議論をしていただきます。
連携協議会は、学校関係者、外部有識者などの委員ほか、中信地区の特別支援学校長、当事者の代表の皆様にも、オブザーバーとしてご参加いただきます。
また、連携協議会の他、作業部会も設け、必要な調査や作業を行います。作業部会は、外部有識者の代表、中信地区の特別支援学校長の代表、特別支援学校の教頭とPTAの皆様で構成します。
- (2) あり方の検討に当たっては、教育委員会において、学校関係者や各障がい者団体などに丁寧に意見を聞き、連携協議会の議論に活かします。
- (3) 連携協議会での議論の後、教育委員会において具体化策を作成し、地域説明会、パブリックコメントを踏まえて、実施します。

3 検討の期間

概ね平成26年度の1年間をかけて、検討を行う予定です。